

4月23日(月)

## 放蕩息子

聖書朗読 ルカ 15:11~20

そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとって、湖に飛び込んだ。  
ヨハネ 21:7

## 今日の力

2012年4月23日~4月29日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

イエス様はよみがえられた後、ガリラヤの湖畔に現れ、弟子たちをご覧になりながら待っておられました。弟子たちは漁をしていましたが、ペテロは、岸辺に立っておられるのがイエス様であると分かったと、湖に飛び込み、イエス様の元へ泳いで行きました。ペテロの父に対する裏切りは、聖書に出てくる放蕩息子とは異なる理由でしたが、その結果は同じでした(マタイ10:33)。罪は打ち砕かれるのです。イエス様は待たれ、ペテロが戻ってくるのを赦しになりました。心が打ち砕かれたとき、謙虚になれるのです。天の御父こそ、打ちひしがれた心を癒し、回復して下さるお方です。イエス様は、『わたしに従いなさい。』(ヨハネ21:19)とおっしゃっています。この簡潔なみことばこそ、確かな愛を伝えてくださるものなのです。

ペテロは、普段の食事、見慣れた雰囲気、再び包まれ、この質問に立ち返ります。「あなたはわたしを愛しますか」。私たちは放蕩息子と同レベルにありました。天の父とわたしたちを隔てていたものは罪です。けれども、私たちは、我に返ったとき、悔い改めて父の家に引き返したのです。私たち自らが引き起こした隔たりを修復しようと。神様は、この経験を通して私たちを用い、失われている人々に、愛なる父が彼らの立ち返るのを待ち焦がれておられるのだということを、伝えようとされています。

救いはいたって簡明と思う一方、罪はあまりにも大きいと感ずることがあります。それでもなお、天の父は、放蕩息子あるいは娘一人ひとりが、みもとに帰ってくるのを待っておられます。神は、喜んで祝福しようと、御腕を大きく広げて、待っておられるのです。

讚美歌 517

祈り 父よ。あなた様が赦しをお与えになり、罪の重荷から解放してください、また、私たちが有用な価値ある者であり、完全に愛されている者であるという確証をお与えくださり感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ロデス  
カリフォルニア州 プエブロ

御茶の水キリストの教会

4月24日(火)

## 「ありがとう」を忘れずに

聖書朗読 ルカ 17:11~19

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下なのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

ヤコブ 1:17

私の記憶する限り、母にはいつも、誰かから何かをいただいたときは必ず「ありがとう」と言いなさいと教えられました。そのせいか、それによって得られる喜びを経験するうちに、何年もこのことは私の習慣となっています。本当の感謝は、心の底から来るものです。

ツアラアトを患うことは、当時、身体だけでなく社会的にも将来への期待が殆ど持たなくなることを意味していました。ですから、イエス様が10人のツアラアト患者の近くにいられたことは、彼らにとって、お恵みくださいと願う絶好の機会となったのです。

イエス様はこれに対し、彼らの求め以上のことをしてくださいました。彼らが癒されてその場を去ろうとしたとき、イエス様は、彼らに、祭司の所へ行って自分たちの癒された姿を見せなさいとおっしゃいました。けれども、彼らは最も大切なことを軽んじていたのです。それは、「感謝」を表現することでした。引き返してきたのは、たった一人。彼は神をほめたたえました。イエス様はこの人に「他の9人はどこにいるのか」とお尋ねになりました。恩知らずは決して許されるものではありません。

私は、結婚における賞賛と感謝を表現する素晴らしい言葉を、かつて聞いたことを思い出しました。「どう思う?」「ありがとう」「素晴らしいね。OKだよ」。こうした言葉は、どんな人間関係でも活かすことができると気づかされました。日々、大切なのは、感謝の気持ちではないでしょうか。

讃美歌 71

祈り 父よ。私たちの誰も、あなた様がお与えになったものに不平不満は言えません。あなた様は、畏れ多いお方ですから、私たちの杯はあなたのめぐみでいっぱい溢れていますと言います。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カルヴィン・H・ボウワー

カリフォルニア州 ロサンゼルス

4月25日(水)

## 完全な理解

聖書朗読 ルカ 19:1~10

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。ヨハネ 10:14

子どもたちは母親に向かってこんなふうにあるでしょう。「お母さんには私の気持ちなんて分からない」。確かにそうかもしれませんが。私たち大人は、子どもとは同じ気持ちを持ち合わせていないでしょうし、彼らの世界は大人の世界とは異なるでしょうから。けれども、誰もが共通して持ち合わせているのは、自分を理解して欲しいと願う心ではないでしょうか。

イエス様はどんなときでも、私たちがどう感じているかを完全に理解してくださっていると知ったら、どんなに心が落ち着くことでしょうか。イエス様は私たちの思いを知っておられ、私たちの日々の決断をご存知です。

主が地上におられた時、問題を抱えた多くの人々に会われました。主は、その一人ひとりの思いを常に知っておられ、彼らの心の葛藤の核心をご存知でした。主の与えてくださる解決方法は、愛と誠であり、簡潔なものでした。

私たちが途方に暮れ、真に理解してくれる人など誰もいないと思うとき、天の御父は、ご聖霊を通して私たちの心の奥深くにある思いを探られ、完璧な正確さをもって、私たちが進むべき道と、私たちの苦悩とをご存知なのです。そのようなとき、知恵とご聖霊の導きを求めるか否かは、実は、私たち自身にかかっているのです。このことは、クリスチャンとして私たちが与えられた、この地上での最も素晴らしい恵みの一つなのです。

讃美歌 第二編 41

祈り 親愛なる父よ。平安と勇気を与え、私の意志とは異なっても、あなた様のご意志に従うことが出来るようにしてください。自分の必要を見極める知恵をあなた様に求めます。あなた様の力と愛と、喜んでお導きくださることを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カレン・ガウワー

テネシー州 キングストン

4月26日(木)

## キリスト、神のみことば

聖書朗読 ヨハネ 1:1~14

初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。  
ヨハネ 1:1

イエス・キリストは神のことばと呼ばれます。それは、キリストご自身を通して、神様のお考えやみこころを私たちに表されるからです。私たちが、他の人に、ことばを用いて自分の考えや気持ちを伝えるように。

この真理は偉大すぎて、一生かかっても自分のものとするのは出来ません。けれども、今日はこの偉大な真理についてじっくり語り、考えてみたいと思います。

キリストは神のことば。そのみことばは、被造物に表される神のみわざを通して、私たちが神のご性質や特徴を知ることが出来るということを、私たちすべての者に示してください。

キリストご自身が神のご性質と愛、栄光に輝くお方であることを私たちに示されます。

キリストの教えにより、私たちに、神のご意志とみこころが示されます。神の願いは、私たちすべての者が神のもとへ帰ることです。

キリストの十字架上の苦しみは、神の私たちへの御愛とご契約を表されたものです。いかなる愛のことばもこれに匹敵するものはなく、また、これほどまでにまさに神のみこころを人に伝えるものもありません。

キリストは、神の真理を伝え、慰め主である真理のご聖霊の形をとって、今も神のことばであり続けておられます。この愛は何と素晴らしいことでしょう。

讃美歌 510

祈り 親愛なる主よ。私たちの信仰を強め、他の人をより深く愛することが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ビル・ティナー

テネシー州 ヘンダーソンビル

4月27日(金)

## 望遠鏡よりも遠くに

聖書朗読 ヨハネ 3:10~15

あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。  
ヨハネ 3:12

私は子どもの頃、外に出て夜空の星や月を眺めるのが好きでした。小学校の時の教科書には天空の写真が載っていましたが、私には同じとは思えず、本物を間近で見たかったのです。

そんな幼少時代に、両親から素晴らしいプレゼントをもらいました。何でも実際に見えるより100倍も大きく見える携帯望遠鏡です。夜空を見上げ、月のクレーターや星の色を眺めている私に、新しい世界を広げてくれるものでした。この望遠鏡が、空を見る私の目を、その後ずっと変えてくれたのです。

今日の聖書箇所は、イスラエルで最も優れていると称賛されたラビ、ニコデモに、イエス様が語りかけられる場面です。イエス様が「新しく生まれる」(ヨハネ3:3~9)とおっしゃった意味を理解するのに苦しんでいたニコデモに対し、イエス様はその限られた見方を広げようと試みられます。ニコデモも私たちと同じ様に、小さな望遠鏡でしか見ていなかったのです。イエス様は、今の時代のハッブル望遠鏡よりもずっと拡大して見る事の出来るお方です。

イエス様は真理をご覧になり、それについて語られました。それは、天の御国のことであり、私たちが見る事の出来る一時的なこの世のちっぽけなことではありません。ニコデモは、このとき、実際には見る事が出来なくても、イエス様を信じたのです。

どうか私たちも、信仰によって、今実際に見えているものではなく、真実と永遠、天国を見る事が出来ますように。

聖歌 195

祈り 親愛なる主よ。真理、天なるものを見る私の目はなんと乏しいことでしょう。どうか私の目を開いて、命に至るものを見る事が出来るよう助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ロバート・P・ミュレン

テキサス州 フォートワース

4月28日(土)

## 従う信仰

聖書朗読 ヨハネ 3:16~21

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

テモテ 3:16~17

誰かがあなたに、「ビタミンを摂るといいよ」、「この本を読むといいよ」と勧めたとしましょう。実行してみようと、あなたを突き動かすものは何でしょう。その人に脅されたから、やってみるのでしょうか。

神様は、私たちに新しい命を差し出してくださいますが、それを受け取るようにと命令なさってはいません。私たちが義の道を選び取ることが出来るよう、しるしを与えてくださっています。神の御子、神の被造物、そしてご聖霊を示して、従うよう呼びかけてくださっています。決して、恐れや迷信などからではなく、いつまでも続く信仰によって従うようにと。

神様は私たちが非常に愛しておられるため 様々な方法でご自身を現されます。私たちの信仰におけるあらゆる道で、様々な形をとって私たちに語ってくださいます。それは、イエス様のみことば、神の被造物であるこの世、そして、神のみことばである聖書です。

神様は、私たちが導かれ、招いておられます。『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。』(ヨハネ3:16) 私たちは神様の賜物、招きそして愛を知り、神様を愛し信仰を抱くようになります。『信仰は望んでいる事ながらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。』(ヘブル11:1)

讃美歌 392

祈り 愛なるお父様。あなた様が私たちの信仰を強めてくださるよう祈ります。私たちの理解力は限られています、どうか私たちの道の方向を定めることが出来るよう助けてください。私たちの心を開いて、あなた様の真理とご意志をもっと受け入れることが出来るようにしてください。私たちの罪と咎をお赦しください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

S・ビル・ジメネッツ

カリフォルニア州 サンフランシスコ

4月29日(日)

## 神と同じ様に人を見る

聖書朗読 ヨハネ 4:1~9

全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を述べ伝えなさい。

マルコ 16:15

スカルに続く道の少し手前で道が分かれ、その分岐点にヤコブの泉があります。この場所は聖書に出てくる土地の中で一番それらしい場所と言われています。およそ2千年前のある日、時は正午ごろ、疲れた旅人がこの泉に辿り着きました。この旅人は疲れ果て喉が渴ききっていました。こうしたことは珍しいことではなく、何年もの間、この泉には、暑さで喉を枯らした旅人らが多く立ち寄っていました。けれども、このとき珍しかったのは、この旅人がサマリヤの町にやってきたユダヤ人であったということです。そんなことはかつて聞いたことがありませんでした。

イエス様は、彼らの間に苦々しい闘争心と偏見が存在していたことをよくご存知でした。にもかかわらず、サマリヤのひとりの女性が水を汲みにやってきたとき、イエス様は人種間の規範や社会的規範とされていたものを無視して、その女性に話しかけられました。イエス様ご自身がメシアであることを初めて現されたのは、この罪深い女性だったのです(ヨハネ4:25~26)。この女性は非常に驚き感激し、水がめを置いたままその場を去って行き、恥を忘れ激しい非難を覚悟で、スカルの男性たちのところへ大急ぎで行き、急いで来て見るようにと彼らに伝えました。彼女の証言とイエス様のみことばにより、『サマリヤ人のうち多くの者が、イエスを信じた。』(ヨハネ4:39)のです。

讃美歌 224

祈り 親愛なる父よ。あなた様をご覧になるように、私たちも人を見る事が出来るようにしてください。特定の人種や階級といったことではなく、あなた様の似姿に造られた霊的な存在として。彼らを愛し彼らと福音を分かち合うことが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

セラーズ・S・クレイン・ジュニア

テネシー州 ヘンダーソンビル